

単元名

## 「未来貢献 PROJECT」

挑戦問題 「ふるさとの未来のために、メッセージを伝えよう！」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 対象 第9学年A組 男子10名 女子11名 計21名

2 単元で目指す学ぶ姿

ふるさとの良さや課題を再発見し、未来に貢献するためのメッセージの発信を、創作劇づくりを通して協働して挑戦しようとする姿。

＜単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック＞

		資質・能力	評価	評価基準 ※「何ができるようになったか」で評価
問題解決へ向かう探究の能力	知識・技能	知識・技能	S	防災学習で学んだ知識や技能を、誇りや自信を持って、創作劇で人に伝えることができる。
			A	防災学習で学んだ知識や技能を創作劇で人に伝えることができる。
			B	防災学習で学んだ知識や技能を人に伝えることができる。
			C	防災学習で学んだ知識や技能を人に説明することができない。
	思考力・判断力・表現力	情報収集・判断	S	防災について、尋ねたり、調べたり、試したりして、平和についての考え方を広げ深めることができる。
			A	防災について、尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。
			B	防災について、尋ねたり、調べたり、試したりして、関係ありそうなものを見付けることができる。
			C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
		思考・表現	S	創作劇において、相手に思いが伝わるようなアイデアや方法を考え、自分の思いを表現することができる。
			A	創作劇において、問題解決へ向けてのアイデアや方法を考え、自分のことばで表現することができる。
			B	問題解決へ向けてのアイデアや方法を考え、表現することができる。
			C	問題解決へ向けてのアイデアや方法を考えることができない。
主體的・協働的に地域社会に参画しようとする意欲と態度	学びに向かう力・人間性	協力・協働	S	夢を持ち、疑問やできないことを大切に、新しい自分やものを創り出すことができる。
			A	夢を持ち、疑問やできないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
			B	夢を持ち、疑問やできないことを大切に、学び続けようと努力することができる。
			C	できないことや分からないことをあきらめている。
		感謝・貢献	S	防災を学んだ者として、自分の使命を自覚し、自分のこれからの生き方の目標を見付け出すことができる。
			A	防災を学んだ者として、これからの平和について、使命感をもって考えていこうとすることができる。
			B	防災を学んだ者として、自分の使命を理解し、果たそうと努力することができる。
			C	自分の役割や使命を理解していない。
		責任・使命	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして全員が納得できる劇を作っていくことができる。
			A	創作劇を進める中で、他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
			B	創作劇を進める中で、他の人と協力しようとして努力することができる。
			C	他の人と協力しようとしていない。
	挑戦・探究	S	文化活動発表会で劇を披露することで、地域の方や保護者に感謝・貢献の気持ちを表し、仲間や地域との絆を深めることができる。	
		A	文化活動発表会で劇を披露することで、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。	
		B	文化活動発表会で劇を披露することで、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようとして努力することができる。	
		C	感謝の気持ちを持っていない。	

## 【評価方法】

生徒には、上記の資質・能力のルーブリックを適時示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。(授業観察、ワークシート)

### 3 単元設定の理由

【生徒観】本学級の生徒は、「ふるさと学習」の単元において、第1学年では、地域貢献としてふるさとの人々を笑顔にする「落語に挑戦」し、人を楽しませることができた自分の成長を実感することで主体性を伸ばした。また、第2学年では社会貢献として「起業プロジェクト」に取り組み、自己の能力の適性を生かしながら、協働して創造的に将来を切り開こうとする志を持ち、それを実践することで、かなえる力を身につけてきた。第2学年時の西日本豪雨災害の際は、小・中学校は避難所や給水所となり、災害時の拠点となった。その際、自分たちも何かできることがしたいと思いながら、多くの生徒は何をしてよいか分からない状態であった。西日本豪雨災害をきっかけに、生徒は、将来も起こるであろう災害時に自分たちは何ができるのかを深く考えるようになった。

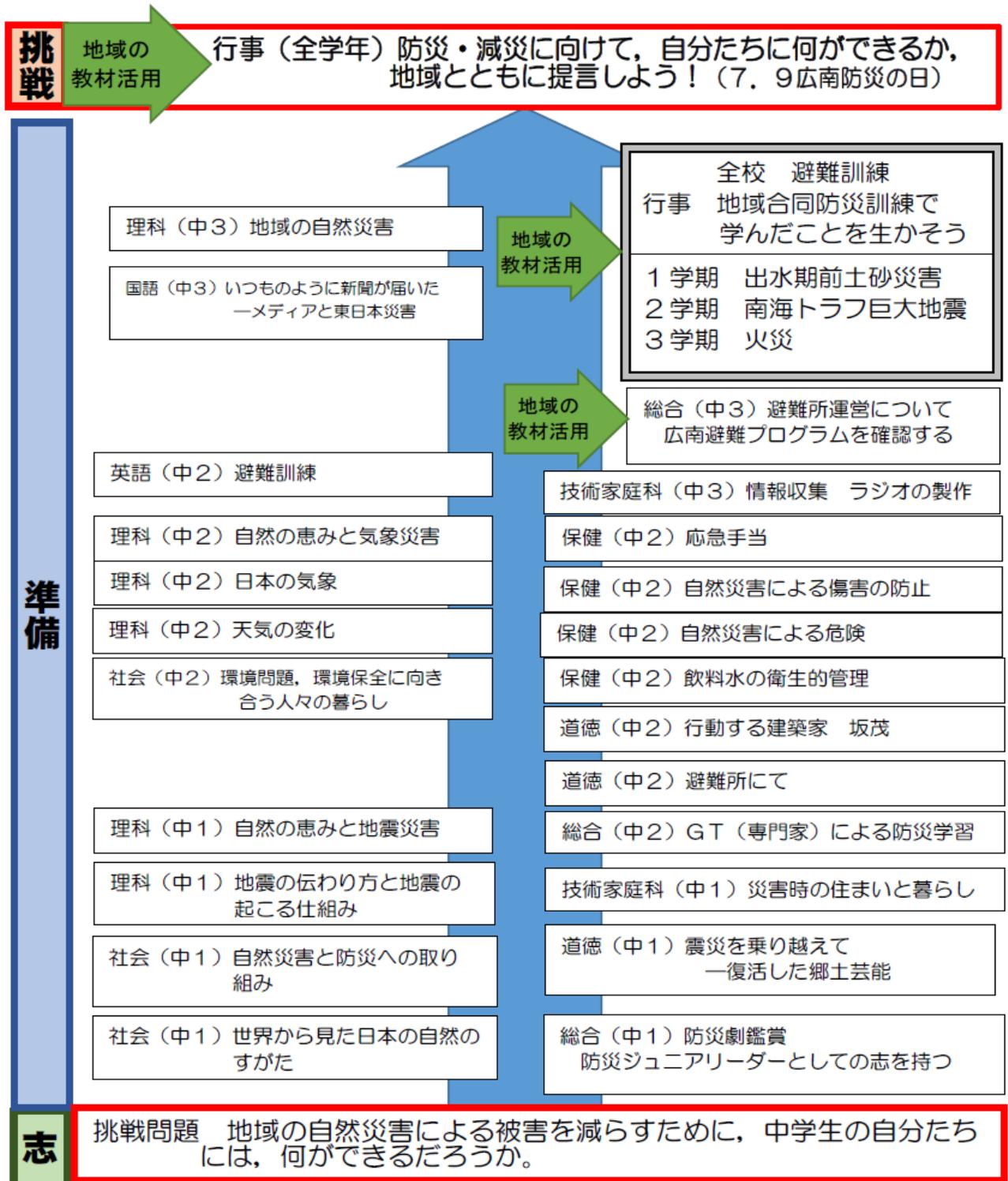
【指導観】この生徒の課題意識を地域・未来貢献プロジェクトの集大成である、本単元「ふるさと学習」につなげることとし、防災に関わる自分たちや地域の課題に沿って、自分たちにどんなことができるかを総合的に考え、実践しようとする態度を育てることをねらいとした。

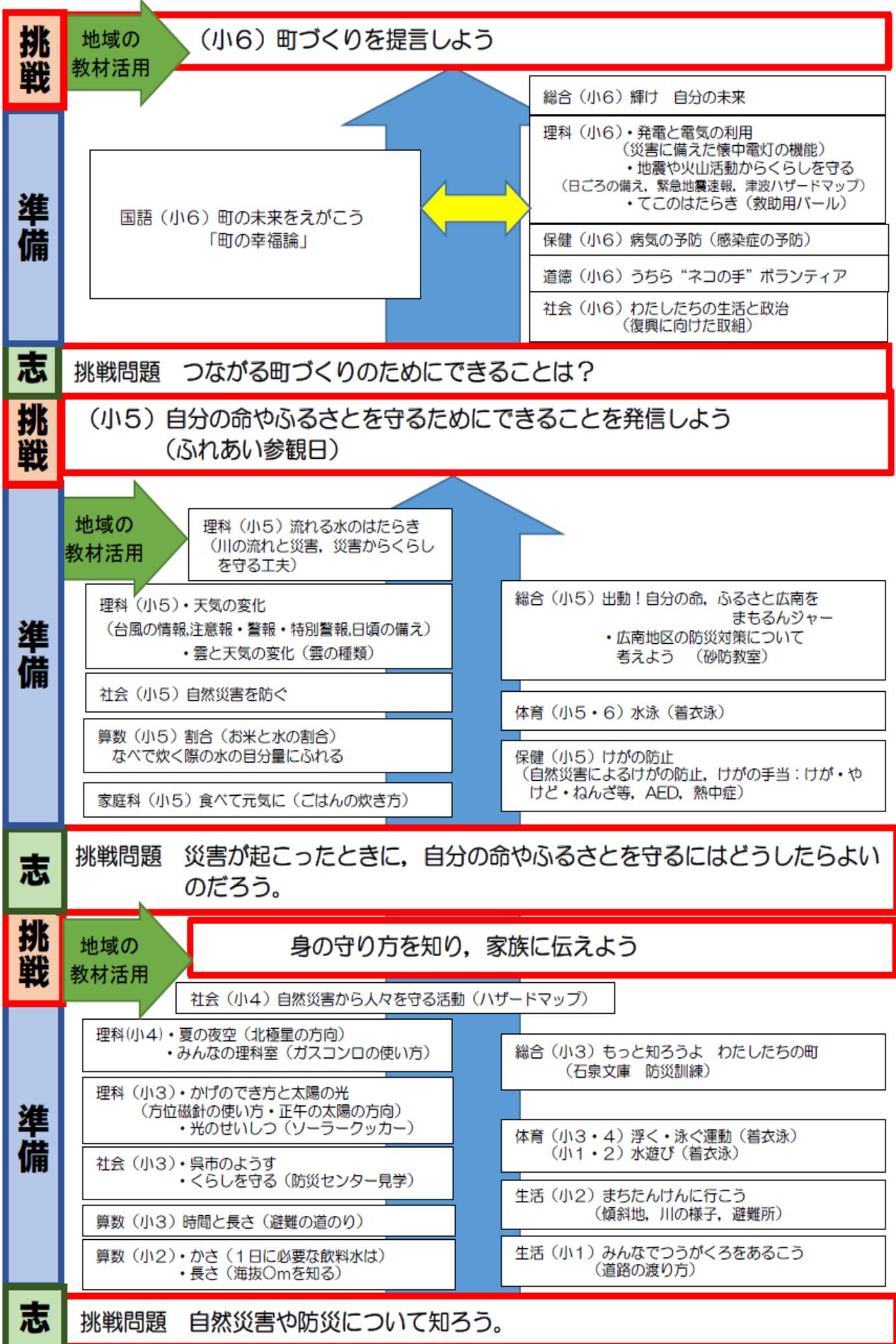
また、創作劇に取り組むことは、誰もが責任を持って役割を果たさなければならない負荷があることによって、実社会における問題解決に取り組む態度である、責任・使命や協力・協働など学びに向かう力を育むことにつながると考える。防災や減災に取り組む際の責任・使命、協力・協働と合わせて伸ばしていきたい。

さらに、防災は地域ぐるみの取組となる。地域の方の協力を得て劇にも参加していただくことで共に地域の課題について考え、本当の意味での地域貢献につながるきっかけになると考える。

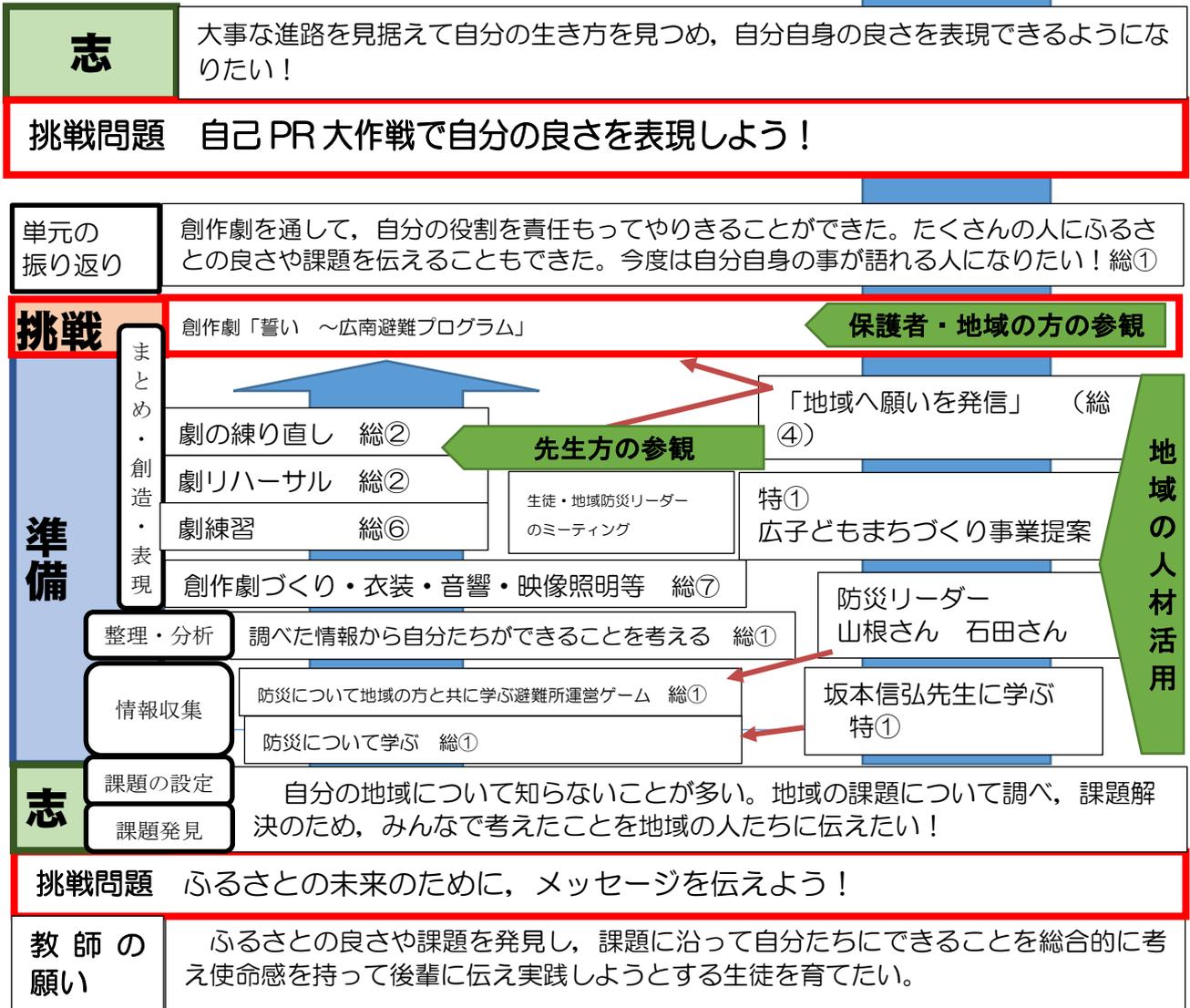
#### 4 貫きカリキュラム

平成 30 年 7 月に起こった西日本豪雨災害では、地域全体が孤立するなど、広南中学校校区も被災地となった。小・中学校は避難所や給水所となり、災害時の拠点となることを児童生徒は理解するきっかけとなった。今後、豪雨災害や南海トラフ地震などの影響を受けることが想定される本中学校区では自然災害についての正しい知識や防災、減災のための実践力を身に付けることが、喫緊の課題である。そこで、防災、減災というテーマについて小中 9 年間を通して探究していくカリキュラムをマネジメントした。





5 本単元の構想図



6 本単元の指導計画（総授業時間数 17 時間）

月	学習活動	時数	指導上の留意点・評価の視点・方法
8	<p><b>課題の設定</b></p> <p><b>STEP 1 「先輩たちの創作劇からどんなメッセージが伝わってくるか、劇をつくるために必要なものは何かを考えよう。」</b></p> <p>○先輩たちの創作劇のDVDから学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先輩の創作劇のDVDを見て、先輩たちのふるさとに対するメッセージを知り、自分たちはどのようなメッセージを伝えるべきかを考える。</li> <li>先輩たちの創作劇の良さに気づく。</li> </ul> <p><b>挑戦問題</b> 「ふるさとの未来のために、メッセージを伝えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルーブリックでこの単元で付ける資質・能力を確認する。</li> <li>この地域へのメッセージとして、どのようなことが考えられるか課題とする。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩たちの伝えたかったことは何かを考える地域や未来についてのテーマを提示し、自分たちの使命を考えさせ、自分たちはどのような創作劇をつくりたいかを考えさせる。</li> </ul> <p>★【挑戦・探究】</p> <p>ふるさとのために、創作劇を上演する意義を理解し、挑戦しようとする気持ちを持つことができる。</p>
	<p><b>情報収集 I</b></p> <p><b>STEP 2 「ふるさとの未来についてどのような問題があるかを調べよう」（地域で災害の歴史やこれからの防災について調べよう）</b></p> <p>○地域で起こる問題にはどのようなことがあるだろうか。</p> <p>○地域の防災の歴史や防災の体制の問題は、どうなっていくのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれが情報収集する内容の分担を決める。</li> <li>どんな情報を集める必要があるか、考える。</li> </ul> <p>各グループで、項目立てを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を実際に集め、メモにまとめる。</li> <li>創作劇に必要な役割分担も決める。任された仕事を進めていく際、どのような情報が必要か考える、</li> </ul>	3	<p>★【情報収集・判断】</p> <p>地域の防災の歴史や体制をさまざまな資料から情報収集し、ふるさとや自分たちの課題を考えることができる。（班新聞）</p>
9	<p><b>整理・分析 I</b></p> <p><b>STEP 3 「集めた情報をグループ別に新聞にして発表し、これから先、自分たちが取り組まなければならないことは何かを考えよう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べた情報をもとに、自分たちの課題を考え、交流する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのグループの発表を聞いて、自分たちが取り組まなければならないことを発表し合う。</li> </ul>
	<p><b>情報収集 II</b></p> <p><b>STEP 4 「課題を意識しながら、創作劇の準備をしよう。」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脚本に、自分たちの考えを入れ込み、物語を完成させる。</li> <li>創作劇の作り方を学び、自分たちの役割を分担する。</li> </ul>	1	<p>★【協力・協働】</p> <p>舞台の準備について、必要なものは何か、アイデアを出し合ったり考えを出し合ったりできる。</p>

	<p><b>STEP 5 「それぞれの役割の中で、やるべきことを順序立て、準備をしよう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署で、どのように仕事を進めるかを確認し、必要なものをリストアップする。</li> <li>・作業日程を決め、それぞれの部署で作業を始める。</li> </ul> <p><b>STEP 6 「創作劇の練習をしよう」「舞台装置を作ろう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝居を効果的に見せるために、どのような道具を準備して、どのように使っていくかを考える。</li> <li>・パートごとの練習を行う。</li> <li>・舞台装置製作の進捗状況を、全体で確認し、協働して作業する。</li> </ul>	<p>2</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作劇のカレンダーを見ながら、自分たちで計画を立てる。</li> <li>★【知識・技能】 台詞を言うのではなく、その状況に即したコミュニケーションを表現するためにどのような工夫点があるか、考える。(振り返りシート)</li> <li>★【協力・協働】 話し合ったりアドバイスをしたりして、効果的な表現にしようとしている。 舞台装置や音響など、協力・協働して作業をしている。(行動観察・振り返りシート)</li> </ul>
<p>10</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; display: flex; justify-content: space-around;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">整理・分析Ⅱ</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">新たな課題の設定</span> </div> <p><b>STEP 7 「先生方に見てもらい、必要な箇所を見直そう」</b></p> <p>○通し稽古をして、最後の確認をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通し稽古を先生方に見てもらい、アドバイスをもらう。その中で、改善点を見つけ、改善する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p><b>まとめ・創造・表現</b></p> </div> <p><b>STEP 8 「本番 創作劇を上演しよう」</b></p> <p>○感想ボードの設置とアンケートを準備し、観客の人々に感想を書いてもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p><b>振り返り</b></p> </div> <p>(振り返る)</p> <p>○「単元で身に付けた資質・能力を振り返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作劇を披露することで、地域の方を喜ばせ、メッセージを伝えることができたか、感動させることができたかについて振り返り、クラスで交流する。</li> <li>・ワークシートのループリックを見て、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</li> <li>・ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。</li> </ul>	<p>2</p> <p>1</p> <p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち稽古ができたなら、先生方に見てもらい、さらに工夫をしていく。</li> <li>★【責任・使命】 自分の役割を理解し、スムーズに練習ができるために何をしなければならないか等、自分の責任を果たしているか振り返る。</li> <li>★【思考・表現】 観客に伝わるように、効果的に表現の仕方を工夫している。(行動観察・振り返り)</li> <li>★【感謝・貢献】 上演に向け、創作劇の意義を確認し、感謝の気持ちを持って上演することを確認する。(振り返り)</li> <li>・感想ボードや自身の振り返りシートを見返しながら、ループリックの項目について自己評価を行い、自分の資質・能力の成長を確認する。</li> </ul>

7 本時の学習（1時間目／全17時間）

(1) 本時の目標 DVDを視聴して、先輩方がどのような劇づくりを目指しているか、それを参考に  
して、自分たちがどのような劇をつくりたいかを考える。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識を持つ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>劇を伝えるために、必要なことは何だろう。</li> <li>先輩たちの去年の創作劇を見て、先輩たちがふるさとのために伝えなかったメッセージは何か、どんな準備が必要か、考える。</li> </ul> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何を伝えたいか。という内容。</li> <li>どんな準備が必要か分からない。</li> </ul> </div>	
<p><b>めあて STEP1「先輩たちの創作劇からどんなメッセージが伝わってくるか、劇をつくるために必要なものは何かを考えよう。」</b></p>		
<p><b>3 広南劇場で、上演すべき芝居とはどんなものか考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先輩方の創作劇を見ながら、伝わってきたメッセージ、創作のために参考になったこと等、考えたことを記入する。</li> <li>発表し、交流し合う。</li> <li>挑戦問題を知る。</li> <li>ルーブリックでこの単元に付ける力を確認する。</li> </ul> <p>&lt;挑戦問題の提示&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩たちのテーマの設定の仕方を考える。</li> <li>広南劇場を楽しみにしている人たちは、自分たちにどんなことを期待しているか考える。</li> </ul> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の意見の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の偉人のことを題材にしている。</li> <li>自分たちの活動の成果を題材にしている。</li> <li>全員で劇をつくっている。</li> </ul> </div>	
<p><b>挑戦問題「ふるさとの未来のために、メッセージをつたえよう」</b></p>		
<p><b>4 良い創作劇にするために必要な要素を考える。先輩たちの良い点を交流する。</b></p> <p><b>5 自分たちが、今回の単元でどのようなメッセージを伝えたいか、思いを持つ。</b></p> <p>&lt;予習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回は地域へのメッセージについて考えるので、どんな案があるか、考えてくる。</li> </ul>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の意見の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域への強いメッセージを入れたい。</li> <li>声が大きく、はっきりしゃべっている。</li> <li>全員で劇をつくっている。</li> <li>先輩たちの思いが伝わってくる。</li> </ul> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちも先輩たちのような劇が創れるか不安だ。</li> <li>地域の人に喜んでもらえる劇をつくりたい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルーブリックを見て、今回身に付ける力を確認する。</li> </ul> <p>★【挑戦・探究】 地域の方のために、創作劇を創りたい、初めての劇だけどもんぱりしたいという思いを持つ。（振り返りシート）</p>

## 8 育成を目指す資質・能力に係る変容

### 期待される生徒の変容

文化活動発表会の創作劇において、自分たちが育ってきたふるさとの未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へ向けたメッセージを創作劇という総合的な表現活動を通して地域に発信することで、故里への社会貢献に向けた自分たちの志を確かなものにする。また、総合芸術と呼ばれる演劇による表現活動を通して、これまでに習得した言語能力と情報活用能力を基盤として各教科で学んだ知識・技能を総合的に発揮し、協働して、ひとつのものを創っていく経験を通して、実社会における協働的な問題解決の能力が鍛えられることが期待できる。

### 令和元年度の取組より

#### Before 【初発（台本に初めて触れて）の生徒の振り返りより】

- ・自らの立候補だけど、先生から「ナレーションは大変だから工夫して頑張らなさい。」と言われても本当にできるのかと少し不安になりました。
- ・台本を読む際、その役はどのような人なのか、またどのように演技したら、その役の性格に近づくのかを考えながら読みました（例えば、生徒歌のセリフの時には応援団風にするなど）。本番に向けてしっかりセリフを覚え、はっきり言えるようになることを決意します。
- ・避難してきた人の部屋割りをどうやってしていくかが難しそうです。私は創作劇の実行委員長で、救護居住班の班長で、本当にみんなをリードできるかという面でも心配です。
- ・劇班で初めての読み合わせでは、ただ読んでいる感じになってしまったので、どうすれば「津波が迫ってくる感じを伝えられるのか」という雰囲気を出してセリフを言わないといけないなと感じました。

地域防災リーダーとミーティング



#### After 【生徒の振り返りより】

- ・人前で話すことは大きな壁となりました。でも、仲間が「ガンバレ」と言ってくれたことが大きな力になりました。私は自分がなすべき「ナレーション」という役をしっかりと果たせたんじゃないかと思います。お見送りの時の地域の方の笑顔は私の一生の宝物です。
- ・地域の方や保護者に防災学習で学んだ知識・技能を自信をもって伝えることができました。伝えられたことも大切だけど、仲間と絆を深めることができたことも大切だと思いました。
- ・救護居住班の役として、どうやって部屋の割り当てをすればいいのかわかりませんでした。しかし、避難所運営ゲームや地域の方と一緒に取り組んでいくうちに少しずつイメージできるようになりました。分からないことは仲間と話し合っ解決することができました。創作劇もうまくいったと思います。これからも地域の方と協力して巨大地震が来ても犠牲者0にできるような避難プログラムを考えていきたいです。

創作劇「誓い ～広南避難プログラム～」本番



#### <生徒の変容（資質・能力）>

地域の方と協働し、創作劇を作り上げたことで、防災に関する基本的な知識とともに、地域に対する感謝・貢献する力、仲間と協力・協働する力、自分の役割を果たすこと、自分の命を守ることに責任・使命の力が付いたと考える。

### 令和2年度指導計画・ワークシート改善のポイント

- ・今年度は教員の異動もあり、脚本づくりに非常に苦労した。広南地区の歴史を踏まえた作品づくりは素晴らしいものと思うが、継続していくために合理的に計画的に取り組んでいく必要がある。そのためには、0学期に台本の骨子、春休みに台本作成にとりかかる。1学期末には台本を配付し、役を決めておくと2学期もスムーズにいくように思う。
- ・今年度は生徒にとってテーマが難しく、生徒が達成感を味わうことができたかは疑問に思う。取り上げることに意義あるテーマであったが、その意義をいかに生徒に落としていくかが課題となった。そのためにも、0学期の志を持たせる工夫が必要となる。

